

九州経済

ファクス 092(711)6249 メール keizai@nishinippon.co.jp

★国際レジネス基礎講座
北九州で来月4日開催

日本貿易振興機構(ジェトロ)北九州貿易情報センターと北九州市は9月4日午後2時から、同市小倉北区のA I Mビルで第1回国際レジネス基礎講座を開催する。定員40人。無料。

国際レジネスに取り組み企業などを支援する狙い。講座では、台湾などで店舗展開する同市の日本茶販売(つじり)の辻二郎営業本部長が海外進出の舞台裏を語る。

講座は計3回で、九州企業のアジア進出状況などをテーマに10月ごろまで続く。第1回の申し込みは9月2日まで。ジェトロ北九州0903(541)6577。

★九州の食・観光の魅力
向上を考えるフォーラム

九州経済産業局は9月17日午後1時半から、福岡市の博多都ホテルで、「九州の食や観光のブランド力の向上を考える」九州キーパーソンフォーラムを開く。入場無料。

食環境ジャーナリスト金丸弘美さんと、地域プロデューサーを手掛ける古田秘馬氏が九州の観光について対談。雑誌「九州のムラ」の養父信夫編集長など、地域づくりに関わる3人が九州の魅力を生かす事例を発表する。

九州経産局のホームページから申し込み。午後5時半から交流会(3500円)もある。九州経産局092(482)5430。

★アジアの今テーマに
FII Gが10月セミナー

ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)は10月2日午後3時から、「海外駐在員が語る『アジアの今』」と題したセミナーを福岡市・天神の福岡銀行本店ビルで開く。

セミナーは2部制。第一部は、大連、上海、香港、シンガポール、バンコクに駐在するFFG海外駐在員事務所長5人がパネリストを務める。第二部では、各事務所長への個別相談会やビジネス交流会を開く。

いずれも参加無料で、定員50人(先着順)。希望者は9月27日までにFFGビジネスコンサルティングのホームページから申し込み。

株主優待に地域特産品

熊本県荒尾市で遊園地「グリーンランド」を運営。今年上半期は、春休みからゴールデンウィークにかけて好天続きたったため、前年同期に比べて来場者数を大きく伸ばした。ただ、隣接地のウルトランランドが9月1日の営業を最後に閉園し「相乗効果が発揮されなくなる。今後の集客策が課題だ」と語る。

多くの人が自社へ投資してらおうと、株主優待を拡充する。これまでの優待は施設利用料の割引や無料化だったが、地域特産品も選べるようにした。1万株以上を持つ「VIP株主」には、有

ひと



グリーンランドリゾート(熊本県荒尾市) 江里口 俊文社長

明海産ののりや荒尾産のほか、グループ会社の遊園地がある北海道のスイートコーンやメロンなど3千円相当を贈る。「熊本、北海道両地域の売り込みにもつなげたい」

| 主要通貨 | 28日 |
|-------------|--------|
| (対顧客電信売り相場) | (単位:円) |
| 米ドル | 98.19 |
| カナダドル | 94.28 |
| EUユーロ | 131.54 |
| 英ポンド | 155.04 |
| スイスフラン | 106.77 |
| 豪ドル | 89.03 |
| NZドル | 77.60 |
| シンガポールドル | 76.52 |
| タイバーツ | 3.10 |
| 香港ドル | 12.96 |
| 韓国ウォン | 8.90 |
| インドネシア100円 | 1.02 |
| フィリピンペソ | 2.34 |
| インドルピー | 1.63 |
| メキシコペソ | 1.8.32 |
| 南アフリカランド | 10.85 |
| 台湾元 | 3.25 |
| 中国元 | 16.20 |
| ロシアルーブル | 3.18 |
| マレーシアリンギット | 29.16 |
| ブラジルリアル | 42.44 |

三菱東京UFJ銀行の電信売り相場、レアルは参考相場、中国元はみずほ銀行の電信売り相場、台湾元、リンギットは参考相場、レアルはリアル銀行



九州食の祭典「来月14日開幕

九州B-1は全国のご当地グルメが競う「B-1グランプリ」の九州地区大会。2009年に福岡県久留米市であった初回は約18万人を集め、11年に北九州市で開かれた2回目も約10万人が来場した。実行委は今度も10万人を目標にする。

今回出展するのは、地元の日田やきそばをはじめ、福岡県田川市のホルモン鍋、佐賀市のシリアンライスなどを提供する10団体。開催地の日田市を除く9団体が来場者の投票で評価を競う。昨年10月のB-1全国大会で1位に輝いた八戸せんべい汁(青森県

西鉄、「B-1」臨時バス

福岡一日田直行「来場10万人」に対応

八戸市)など九州外の6団体もゲスト参加する。

臨時直行バスは、西鉄天神バスセンターから各日午前7時半〜9時半に5本を運行。日田バスセンターからも午後2〜4時に5本を走らせる。途中停車せず、所要時間は通常の1時間半から約20分短縮されるという。片道1750円、往復3150円。より割安な4枚つづりもある。

石丸邦夫・日田市観光協会長(69)は「西鉄バスには、全面的にバックアップしてもらった。会場周辺は混雑が予想されるので、なるべく公共交通機関で来てほしい」と話している。

九州B-1は、両日とも午前10時〜午後4時に日田市中心部の公園3カ所で開催。料理の購入にはチケット(10枚つづり千円)が必要。日田市観光協会0973(22)2036。(川崎弘)



着けたままタッチパネルを操作できる作業用手袋(東和コーポレーション提供)

脱がずにタッチパネル操作

作業用手袋登場

東和コーポレーション(福岡県久留米市)は、手に着けたままスマートフォンやタブレット端末のタッチパネルを操作できる作業用手袋「フィールドタッチ」を9月2日に発売する。作業中に手袋を取引店

株式給付信託を

サニックス導入

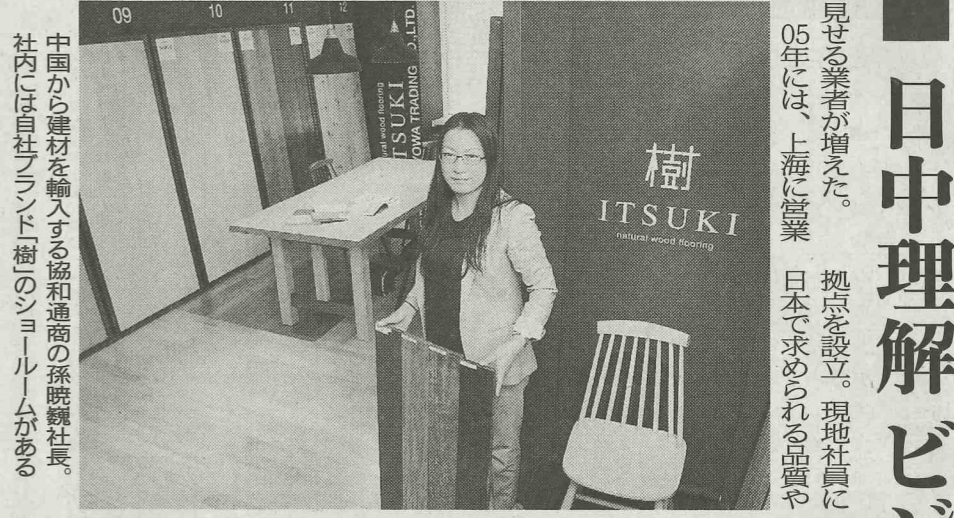
サニックス(福岡市)は28日、従業員の労働意欲を高めようと、従業員に自社株を提供する「株式給付信託」を9月13日に導入すると発表した。同社の自己株式121万375株のうち9万8200株(約1億3500万円相当)を、従業員持ち株会が購入する。同社によると、持ち株

わが社のアジア戦略

「これじゃ、どっちも損してる。うまく仲介できれば、ビジネスチャンスになる」。大学院修了後の2003年、建材などの輸入を手掛ける協和通商を立ち上げた。

表面がさらさらした床材、板と板のつなぎ目に隙間がある壁材。中国の建材は、日本の品質基準に達しない物が多く、「高品質の商品を作ってもほしい」と現地メーカーの説得に奔走した。

断られることもあったが、メーカー側の利益につながることを訴え、注文や要望にも耳を傾けるうちに「日本で通用する物を作りたい」と意欲を



中国から建材を輸入する協和通商の孫曉魏社長。社内には自社ブランド「樹」のショールームがある。

協和通商 福岡市博多区。2003年7月に設立。社員は国内11人、中国16人。売上高は国内約7億3000万円、中国約5億円。日本製電気機器の輸出や貿易支援業務も手掛ける。

文化の違いを事細かに教えた。出荷時の全品検査に加え、製造工程のチェック態勢も整えた。

一方で、人口13億人の中国市場を見据える。内装の仕上げや流し台の据え付けが別購入となっていて、マンシヨンの事情に着目。内装まで完成させた日本式マンシヨンの販売

に乗りだし、現地企業と上海、北京に2棟の建設を進めている。うまくいけば、日本の建材や工法の普及につながる。

6月には、中国製の高級建材を売り出すために自社ブランド「樹」を立ち上げた。欧米や東南アジアの木材を中国で加工し、日本に輸入する。

日本では、チャイナリスクが叫ばれている。しかし、孫社長は力を込める。「中国を嫌っても中国はなくなる。互いの短所を理解し、長所を学び合う。そんな関係をつくっていくのが私の夢です」

「取材後記」を特集・アジアコーナーに掲載

qBiz キュービズ

西日本新聞経済電子版 qBiz 検索

J R九州 熊本観光後押し

10月からキャンペーン

ネットスーパー イオン九州拡大

福岡大分全域にイオン九州(福岡市)は28日、福岡県と大分県でのネットスーパーの宅配対象地域を、それぞれ県内全域(一部離島除く)に拡大すると発表した。共に31日から全域への宅配を始める。同社、宮崎、スーパースーパー、家庭用、残ったものを拡充する。